

○ 28年度の自己評価結果

28年度の重点目標	<p>学習活動と特別活動の両立のもとに、主体的に行動する力を養う。道徳的実践力の確立を図り、真摯に学ぶ態度をはぐくみ、豊かな人間性を育成する。</p> <p>(1) 心身ともに健全な生徒の育成 (2) 自ら学び、深く考えることのできる生徒の育成 (3) 地域から信頼される学校づくり</p>		
項目(担当)	重点目標	評価項目	評価課題と課題 (表中の割合を示す数値については、生徒、保護者、教員対象アンケート結果による)
学習指導 (教務部)	①学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回学習時間調査の実施 ・9月に家庭学習強化週間の設置 ・授業での予習、課題点検の実施 ・個人面談、学習相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の家庭学習時間調査では、3学年とも「生徒が家庭での予習、復習を十分行い、授業に参加しているか」について、ST等で調査をした。 ・1週間の家庭学習時間の調査をし、個人面談、学習相談に結びつけた。
	②授業の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートを利用し、教員の自己点検、自己評価の実施 ・授業参観しやすい環境作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が、分かりやすい授業を実施するよう努めているか、生徒への授業評価アンケートを行い、授業の質の向上に結びつける契機とした。 ・秋に研究授業期間を設定し、各教科2名の先生方が実施、参観の人数が向上した。
	③課題提出の厳守	<ul style="list-style-type: none"> ・課題予定・課題箇所への明示 ・未提出者への提出指導の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、各学年が事後の指導や課題の提示方法など、さまざまな工夫を試み、目標の5%を達成できた。今後も、気を抜くことなく、さらに生徒の課題への取組む姿勢などを含めて、指導の充実を図る必要がある。
進路指導 (進路指導部)	①進路情報の時宜を得た的確な提示	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の動向の把握 ・進路情報の作成と提供 ・「進路だより」の発行 ・模試の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望調査、面談等により生徒の進路意識と進路実現意欲を理解するのに努めた。 ・進路情報の提供に関しては、約8割の生徒、保護者という結果を得た。
	②補習、ドリカム教室等の行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学年、教科と連携による、生徒の実態・要望に即した行事計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年の補習、ドリカムは生徒の進路に合わせ各種の講座を設定して、生徒の満足度も高い。 ・1、2年の早朝補習、ドリカムは、さらに改善の余地がある。
	③希望する進路実現のための学力の獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・学力上位層への計画的な指導と下位層への補充 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力上位層にも特別な課題を与えるなどさらなる向上を図った。新しい学力層の入学により、その実態の把握と早急な対策を行ったが、更に観察を要する。 ・1年生は目標数値を達成できたが、2、3年生は目標と差があった。今後の課題として、是非とも挑戦していきたい。
生徒会活動 (生徒会部)	①南高祭への積極的参加	<ul style="list-style-type: none"> ・執行部、生徒議会、委員会の充実及び教員による指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取り組みもあり、執行部や実行委員だけでなく生徒たちみんなが、自分の役割を果たすことができた。
	②部活動への積極的参加	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問の積極的な指導 ・試合結果の報告等の広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の部活動状況調査では、毎日部活動に参加している生徒は、全体で83.4%と目標を上回った。 ・県大会以上に出場する部が7つあり、運動部・文化部ともに大会等で活躍している。
生活指導 (生徒指導部)	①身だしなみ指導の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・集会時や指導を受ける際の服装の徹底 ・校門における服装指導の実施 ・服装指導強化週間の年2回の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の89%が「身だしなみ指導をしている」との評価しており、職員も昨年より11ポイント増えて72%が「身だしなみを指導している」と評価している。さらなる職員全体で指導が行える体制づくりが課題である。
	②交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝交通安全指導の実施 ・警察職員による交通安全講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故発生報告数が3件減っているが、自動車との接触事故数は例年並みである。さらなる自転車通学者への運転マナーの意識づけが必要である。
	③サイバー犯罪の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・警察職員によるサイバー犯罪防止講話の実施 ・人権講話の実施 ・学校生活環境調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット犯罪の防止として、全校生徒に警察職員による講話等を行なって、一定の効果は出ている。今後も保護者と連携してネットマナー確立に取り組む必要がある。

項目(担当)	重点目標	評価項目	評価課題と課題 (表中の割合を示す数値については、生徒・保護者・教員対象のアンケート結果による)
P T A活動 (総務部)	① P T A行事への参加促進	・ P T A行事の参加数の増加 ・ P T A行事の保護者への浸透	・ すべての P T A行事において、昨年度なみの参加者を得ることができた。しかし、まだ P T A行事についての認知度を高める余地があるため、来年度はさらなる参加者の増加をめざしたい。
防災教育 (総務部)	① 生徒の防災教育の推進	・ 避難訓練シェークアウト訓練への積極的な取り組み	・ 今年度からシェークアウト訓練を実施するなど、例年以上に防災に向けての生徒の意識向上が達成できたと思われるが、来年度はさらなる意識向上をめざしたい。
学校保健 (保健厚生部)	① 校内美化の推進	・ 清掃時間厳守の指導、巡回指導の実施 ・ 生徒美化委員会による清掃点検の実施	・ 清掃時間帯に音楽を流し、意識付けを図った。 ・ 清掃点検や清掃道具の修繕を、生徒自らが実施し、校内美化に対する意識を高める活動を行うことができた。 ・ 11月の環境整備活動においては、美化委員が中心となり、生徒主体の活動を実施することができた。 ・ 夏季休業中のトイレ清掃については、チェックリストを作成したことで、各部活動の生徒が意識を持ち、活動することができた。 ・ 教員アンケート「生徒が校内環境に積極的に取り組むように指導していると思いますか」の項目について、「かなりそう思う」と答えた教員が、前年度の13%から今年度35%と増加した。
	② 保健厚生部と学年との連携強化	・ 心身の不調を訴える生徒へのカウンセリング・マインドでの対応と全教職員の共通理解	・ 担任会・学年会・保健厚生部会・学年主任会・教育相談委員会で情報交換を十分に行うことができた。また、その効果もあり生徒や保護者への対応も、教員の共通理解をもって臨むことができた。 ・ 教員アンケート「私たちは、生徒の健康状態を把握するとともに、十分な相談活動を行っていると思いますか」の項目について、「かなりそう思う」と答えた教員が前年度44%から今年度60%と増加した。
図書館活動	① 図書の充実と図書室利用者の増加	・ 読書指導の充実 ・ 月毎の貸出冊数の調査と公表 ・ 図書館の企画と図書館便りの「ライブラリー」による広報活動	・ 年間貸し出し数が1091冊となり、目標に達することができた。「ライブラリー」や「図書館報」による情報提供が奏功したと思われる。 ・ H28年度から新たに開始した「読書週間企画」と、従来のものをより発展的に衣替えした「文化祭企画」を中心に、活発な活動を行うことができた。
研修 (教務部)	① 研究授業による現職教育の充実	・ 計画的な研究授業の実施 ・ 時間割変更の工夫 ・ 秋に研究授業期間を設定・計画的な研究授業の実施 ・ 時間割変更の工夫	・ 今年度は、研究授業週間以外にも初任研3名、5年研1名、10年研1名の研究授業、さまざまな研究会の会場になったり、視察等で授業を参観したりする機会が増えた。若手の先生を中心に積極的な参観が実現された。 ・ 今年度は、研究授業の当日のアナウンスがなかったケースが有り、実施して頂いた先生には大変迷惑をおかけした。研究授業への参観人数等を報告してもらおう取組については、今後検討していきたい。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重点目標の達成を目指し、学校全体で取り組んだ結果、生徒・保護者に十分な満足感や達成感を与えることができた。多くの学校行事において積極的に活発な参加が得られ、充実した活動となった。特に学校祭には多くの保護者の参観があり、その関心の高さが顕著であった。 ・ 進路指導では生徒・保護者への進路情報提供についての努力の成果が見られた。また、昨年引き続きスクールカウンセラーの活用などを通して、相談活動の充実が図れた。しかしながら、家庭学習時間の減少の背景には昨今のスマホと生徒の関係も見取れ、生徒の生活全体も視野に入れての指導方法についての必要性を認識している。 ・ 保護者・地域への情報発信については、ホームページの更新が少なく、十分なものとならなかった。時宜を得た情報提供に、一層努める必要がある。 		

○平成 29 年度の学校評価（評価項目）

本年度の重点目標	<p>「学力」と「人間力」を育成し、「文武両道」を実践する。その実現のために下記(1)～(2)に重点的に取り組む。</p> <p>(1) 学力の育成（目標；基礎学力の定着と応用力の伸張。進路目標の実現）</p> <p>ア．授業力の向上 イ．家庭学習習慣の確立 ウ．キャリア教育の推進 エ．個に応じたきめ細かな指導</p> <p>(2) 人間力の育成（目標；道徳性・社会性の向上。自己肯定感と帰属意識の涵養）</p> <p>ア．基本的生活習慣の確立 イ．部活動の活性化 ウ．学校行事の充実 エ．人権教育の推進</p>		
項目(担当)	重点目標	評価項目	具体的方策
学習指導 (教務部)	①学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回学習時間調査の実施 ・学習の記録の実施 ・9月に家庭学習強化週間の設置 ・授業での予習、課題点検の実施 ・個人面談、学習相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が家庭での予習、復習を十分おこない、授業に参加しているか、毎日のST等で調査をする。 ・1週間の家庭学習時間が目標時間を越えているか、調査をする。
	②授業の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートを利用し、教員の自己点検、自己評価の実施 ・授業参観しやすい環境作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が、分かりやすい授業を実施するよう努めているか、生徒への授業評価アンケートを行う。・秋に研究授業期間を設定し、各教科2名の先生方が実施。
	③課題提出の厳守	<ul style="list-style-type: none"> ・課題予定・課題箇所の明示 ・未提出者への提出指導の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題の未提出率が目標値を下回ったか、毎週迅速に集計をし、個別指導等に役立てる。
進路指導 (進路指導部)	①進路情報の時宜を得た的確な提示	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の動向の把握 ・進路情報の作成と提供 ・「進路だより」の発行 ・模試の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望調査、面談等により生徒の進路意識と進路実現意欲を理解するのに努める。進路情報の提供に関しては、約8割の生徒、保護者という結果を目標にする。
	②補習、ドリカム教室等の行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学年、教科と連携による、生徒の実態・要望に即した行事計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年の補習、ドリカムは生徒の進路に合わせ各種の講座を設定する。1、2年の早朝補習、ドリカムはさらに改善する。
	③希望する進路実現のための学力の獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・学力上位層への計画的な指導と下位層への補充 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力上位層にも特別な課題を与えるなどさらなる向上を図る。新しい学力層の入学により、その実態の把握と早急な対策を行う。
生徒会活動 (生徒会部)	①南高祭への積極的参加	<ul style="list-style-type: none"> ・執行部、生徒議会、委員会の充実及び教員による指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・執行部、生徒議会、委員会の企画立案や教員の指導のもと、生徒が自ら活動の具体的計画を立て、意欲的に参加し、その結果、南高祭を生徒の満足できるものとする。
	②部活動への積極的参加	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問の積極的な指導 ・試合結果の報告等の広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日部活動に参加している生徒の調査を年2回実施する。
生活指導 (生徒指導部)	①身だしなみ指導の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・集会時や指導を受ける際の服装の徹底 ・校門における服装指導の実施 ・服装指導強化週間の年2回の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回朝礼において、全教員による服装指導を実施する。 ・服装指導強化週間や登校時のみ服装を正すという意識を持たせないように、STや授業開始時、廊下等での出会い頭での指導も実施していく。
	②交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝交通安全指導の実施 ・日本自動車連盟による交通安全講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時の合羽未着用者のチェック指導を引き続き実施し、合羽着用の徹底を図る。 ・登下校時の立番指導日を増やし、交通法規や交通マナー遵守の徹底を図る。
	③いじめ防止を含めた人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・警察職員によるサイバー犯罪防止講話の実施 ・人権講話の実施 ・いじめの早期発見、事案への適切な対処 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携して、「スマホ・携帯・PC使用ガイドライン10」の遵守を呼びかけ、ネットマナー確立に取り組む。 ・ネットパトロールによる監視を行い、不適切な投稿等の早期発見に努める。 ・学校生活環境調査を実施し、生徒の学校生活における諸課題を早期に収集し、いじめなどの重大事案の早期発見、適切な対応に結びつける。

項目(担当)	重点目標	評価項目	具体的方策
P T A活動 (総務部)	① P T A行事への参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A行事の参加数の増加 ・ P T A行事の保護者への浸透 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A総会、授業公開の内容の充実を図るとともに円滑な運営を工夫する。 ・ 「きずなネット」「学校HP」などを利用することで、幅広い広報活動を積極的にすすめ、保護者への周知徹底を図る。
防災教育 (総務部)	① 生徒の防災教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練シェークアウト訓練への積極的な取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練やシェークアウト訓練などを通じて生徒の防災に向けてのさらなる意識向上をめざす。
学校保健 (保健厚生部)	① 校内美化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃時間厳守の指導、巡回指導の実施 ・ 生徒美化委員会による清掃点検の実施 ・ 長期休業中の清掃活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃時間帯に音楽を流し、清掃時間の意識づけを図る。 ・ 生徒美化委員会による清掃点検を定期的に行い、清掃状況を把握し、各担当クラスへ評価を伝える。 ・ 部活動生徒による長期休業中の体育館附属WC清掃の実施計画や更衣場所の節度ある使用を促す。
	② 保健厚生部と学年との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身の不調を訴える生徒へのカウンセリング・マインドでの対応と全教職員の共通理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校不適應など心身の不調を訴える生徒に、養護教諭、分掌、学年会が連携を密にして対応する。 ・ 新入生保護者説明の際に、相談活動について紹介を行い、教育相談だよりを定期的に発行する。
図書館活動 (図書部)	① 図書の充実と図書室利用者の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書指導の充実 ・ 月毎の貸出冊数の調査と公表 ・ 図書館の企画と図書館便りの「ライブラリー」による広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵書の年間貸し出し数の目標を、1000冊としたい。 ・ H28年度からの図書館の新しい企画を今年度も継承し、発展させて、広報活動の充実を図りたい。
研修 (教務部)	① 研究授業による現職教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な研究授業の実施 ・ 時間割変更の工夫 ・ 秋に研究授業期間を設定・計画的な研究授業の実施 ・ 時間割変更の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋に研究授業期間の設定・計画的な研究授業の設定 ・ 実施・研究授業へ参観しやすい時間割変更の工夫
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力の定着と応用力の伸張を図る取組について、 ・ 進路目標の実現について ・ 道徳性・社会性の向上に係る取組について ・ 自己肯定感と帰属意識の涵養を図る指導について 	